



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
 2011年5月20日号 No.192

'みなさんをいつもまんやかに'

区議団控室：5803-1317 (直通)
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



安心して
校庭や砂
場で遊べ
るように



茨城県より4〜7倍の東京都内の放射性セシウム濃度—専門家の調査結果
文京区として放射線の調査を。安心を確保するために、区有施設や公園などの土壌調査を—
保護者が区議団に要請

15日付「朝日」新聞に、「東京都の土壌で放射性セシウムの濃度が1キロあたり3千ベクレルを超え、福島原発により近い茨城県より高い地点がある」との近畿大学の山崎秀夫教授の調査結果が掲載されました。

折も折、原発事故による放射能汚染を心配する子育て中のお母さん方が17日、共産党区議団に要請にきました。「幼稚園や保育園でも原発事故当初は「外遊び」を禁止していたが、いまは大丈夫か」「東大の人が保育園の土壌の調査をしていたが、結果はどうだったのか」など、心配事が口々に語られました。話をうかがっていて、やはり事実としての情報が流されてい

ないことに、その根源があると感じました。測定データがあるのなら公表を区としてぜひ放射線モニタリング調査の実施をこれらの要請を受けました。

区の担当課（環境政策）にうかがった限りでは、新聞報道などを受けて区としても実態の調査をこれから行っていく方向だそうです。20日に

予定している、「区長申し入れ」次号詳細予定でも取り上げていきます。



各種団体の総会が次々と開催中

町会、医療生協の支部、学校関係など各種団体の総会が開かれています。

この間は、養生会小石川白山支部や文京区女性団体連合会、そして17日は青少年対策礫川地区委員会の総会に出席しました。

礫川地区対は区民センターの2階の会場いっぱいの130人余が参加。主催者は、会場の確保や震災の関係を考慮して、総会文書の配付で済まそうかとの意見もあったが、結局開催すべきとの判断に至ったと報告。やはりその決断は正しかったのでしょう、総会はおおいに盛り上がっていました。



まんだち日誌

12日 朝町内の交通安全運動として堀坂上で黄色い「旗振り」。通学児童は数人ですが、元気に登校していきま

す。出勤するみなさんからも声がかかるのがうれしいですね。

その後、足立区の選挙応援に。

14日 文京区女性団体連合会の総会。新議員が大方集まりました。熱心な討論があったのでしようが、途中で失礼しました。夜、党支部の会議

15日 時間をつくって、久しぶりに家の自室と居間の掃除。いろいろ資料が出てきましたが、思い切って捨てる

ことが肝心です。夜、若者たちとの懇談。会食。貴重な時間でした。

16日 久々のサントク前昼間宣伝。通行人に「赤旗」を渡しました。